

テーマ「年中夢求」

尾道に青年会議所が産声を上げて今年で65年。設立以来、先輩方の築き上げた青年会議所活動の功績が今日の我々の活動の礎となっています。

この先輩方の「想い」を受け継ぎ未来のメンバーに託していくためには、活動記録の整理・保存と広報活動というものは不可欠なものであります。

総務広報委員会では、例会の設営や運営はもちろんのこと、理事長所信にあります「守 破 離」の精神を持ち、メンバーが心置きなく活動できるような環境を整えることが必要と考えます。

VHS 開発指揮者、日本ビクターの元副社長、高野鎮雄氏は開発の当時を振り返り、「夢中でしたね。夢中ってというのは、たいへん素晴らしいことだと思う。神様がね、こんな素晴らしい人たちを私の周りに置いて下さった。ぜひ皆さんも、何でもいいですから夢中になってください。」という言葉が自身が退任する際に後輩に向けて残されています。

せっかく青年会議所に入会しても、現状として夢中になれる環境というものが、昨今の情勢により失われつつあり、この状況の改善は非常に重要なことであると思います。

素晴らしい人たちは既に周りにいます。そこから更に JC 活動に夢中になれる夢のような環境づくりを総務広報委員会の活動の中で調査・研究・実践していくとともに、ホームページや SNS などのツールを活用し、青年会議所活動の魅力の発信、そして尾道という「まち」の魅力を発信して参りましょう。